

対象工事番号

初めての申請の方は記入しないでください

交付チェックリスト

↑ 支援室記入欄

応募・交付申請チェックリスト

申請者	氏名又は法人名	工事発注者	(担当者)	連絡先	TEL
事務連絡先	氏名又は法人名	事務連絡名	(担当者)	連絡先	TEL

↑ 日中に連絡が取りやすい電話番号

提出書類のチェック

提出する必要書類にチェック
提出の必要がない不要書類に斜線



番号	種別	交付様式番号 添付書類	書類名称	申請者	支援室
1	必須	交付チェックリスト	応募・交付申請チェックリスト		
2	必須	1-1, 1-2	応募・交付申請書		
3	必須	添付①	建物の実在確認ができる書類		
4	必須	添付②	申請者の本人（法人は実在）確認ができる書類		
5	該当者	添付③	事務連絡先の本人（法人は実在）確認ができる書類		
6	該当者	添付④	建物所有者の本人（法人は実在）確認ができる書類		
7	該当者	添付⑤	サブリースに係る確認書		
8	該当者	1-3	住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業に関する同意書		
9	必須	2	住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業に関する確認書		
10	必須	3-1, 3-2	対象建物概要書		
11	必須	添付⑥	建物の新築着工年月日が確認できる書類		
12	必須	3-3～3-5	対象住戸概要書		
13	必須	4-1, 4-2	工事計画書		
14	対象工事	4-3(1)、(2)	改修工事の内容：空家等		
15	対象工事	4-3(3)、(4)	改修工事の内容：共用部分		
16	対象工事	4-4	改修工事実施予定部分写真		
17	必須	添付⑦	工事請負契約書の写し、及び見積書		
18	対象工事	添付⑧	改修工事に係る図面、資料等		
19	対象工事	添付⑨	建築確認済証の写し（建築確認が必要な場合のみ）		
20	必須	4-5	確認書（建築士による事業要件への適合確認）		
21	必須	添付⑩、⑪	建築士の免許証の写し及び、印鑑証明書の写し		
22	該当者	添付⑫	建築士事務所登録免許証の写し		
23	対象工事	5	耐震性能証明書（建築士による耐震性能証明）		
24	該当者	添付⑬、⑭	（耐震性能を証明した）建築士の免許証の写し及び、印鑑証明書の写し		
25	該当者	添付⑮	（耐震性能を証明した）建築士事務所登録免許証の写し		

【平成27年度】応募・交付申請書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：1-2】

※既に交付決定通知を受けている場合は、交付決定通知の事業者番号を記入して下さい。

4. 事務連絡先（代行申請者）の概要

本人確認が印鑑証明による場合は
印鑑証明書と同じ印鑑を押印してください↓
※法人の場合は法人印を押印

事務 連 絡 先	担当者	氏 名	(フリガナ) コウジ イチロウ 工事 一郎	代行 申 請 者 印	印		
	所 属	法人名	(フリガナ) カブシキガイシャ ○○建設 株式会社 ○○建設				
		部署・役職	リフォーム部 課長				
	連絡先	住 所 (都道府県名より 記入して下さい)	〒 1 0 3 - 0 0 2 7 東京 都・道 府・県 中	申請書に押印する印鑑は統一して下さい。 また、印鑑証明を添付する場合は、印鑑証明と 同じ印鑑を押印してください。			
		電話番号	0 3 - 5 5 6 5				
		緊急連絡先	0 9 0 - 5 5 6 5				
		FAX	0 3 - 3 1 2 3 - 5 5 6 5				
		E-mailアドレス	koujixx@.co.jp				
	個人の場合	本人確認が できる書類	☐ 運転免許証の写し ☐ 日本国パスポートの写し ☐ 在留カードまたは特別永住者証明書の写し ☐ 印鑑証明の写し ☐ 健康保険被保険者証（健康保険証）または後期高齢者医療被保険者証の写し ☐ 住民票の写し				
	法人の場合	法人の実在確認が できる書類	☐ 商業登記の現在事項証明書（履歴事項証明書でも可）の写し ☒ 法人印の印鑑証明の写し				

5. 建物所有者の概要（申請者と異なる場合、もしくは共有者がいる場合に記入してください）

本人確認が印鑑証明による場合は
印鑑証明書と同じ印鑑を押印してください↓
※法人の場合は法人印を押印

建物 所 有 者 (共有者含む)	建物 所有者	氏名又は法人名	(フリガナ)	建物 所 有 者 印	印
		法人の代表者名	(フリガナ)		
	連絡先	住 所 (都道府県名より 記入して下さい)	〒 - 都・道 府・県		
		電話番号			
	個人の場合	本人確認が できる書類	☒ 運転免許証の写し ☐ 日本国パスポートの写し ☐ 在留カードまたは特別永住者証明書の写し ☐ 印鑑証明の写し ☐ 健康保険被保険者証（健康保険証）または後期高齢者医療被保険者証の写し ☐ 住民票の写し		
法人の場合	法人の実在確認が できる書類	☐ 商業登記の現在事項証明書（履歴事項証明書でも可）の写し ☐ 法人印の印鑑証明の写し			

6. 対象建物の転貸人（対象住戸の入居者への賃貸人が建物所有者と異なる場合に記入してください）

対象 住 宅 の 転 貸 人	転貸人	氏名又は 法人名	(フリガナ) カブシキガイシャ ○○リビング 株式会社 ○○リビング	
		法人の代表者名 (役職)	(フリガナ) リビングブ ブチョウ リビング事業部 部長	
	連絡先	住 所 (都道府県名より 記入して下さい)	〒 0 9 0 - 5 5 6 5 東京 都・道 府・県 中	転貸人がある場合は、交付申請要領 P25～P28「(別添)サブリースの場合の 確認」の提出が必要です。
添付書類		☒ サブリースに係る確認書		交付申請要領の別添様式を使用してください。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成27年度】応募・交付申請書

対象工事番号
(支援室が記入)

【交付様式：1－3】

(申請者と建物所有者が異なる場合に記入してください。)

住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業に関する同意書

私が所有する下記の建物について、国土交通省所管の住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業の制度内容及び交付申請要領等を理解した上で、同事業の要件を遵守することを誓約し、同事業の補助金の交付を受けるための申請に同意します。

所有者が異なる場合もしくは共有者が複数の場合は、全員分の同意書が必要になり

平成 〇〇 年 〇× 月 〇× 日

対象建物の所在地： 東京都豊島区南池袋〇－〇－〇

対象建物の名称 : 〇〇 マンション

[建物所有者]

(法人名) :

氏名(代表者名) : あんしん 花子

(印)

(申請書【交付様式：1-2】と同じ印鑑を押印ください。)

住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業に関する確認書

- 一 国土交通省所管の住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業の制度内容及び交付申請要領等を理解した上で、同推進事業の要件を遵守します。
- 二 改修工事後に賃貸借契約を締結して、本事業で規定する入居対象者の居住用として賃貸する住宅とします。
※ 入居対象者は、高齢者世帯、障害者等世帯又は子育て世帯のいずれかに該当し、かつ、入居の際の収入が15万8千円以下の者であって、従前居住地が持家でない者とする。
ただし、居住支援協議会が認める場合にあっては、入居の際の収入を、地方公共団体が条例で定める当該入居者に係る公営住宅の入居に関する収入の基準とすることができる。
- 三 災害時に被災者の利用のために提供する対象となる住宅であること。
地方公共団体と賃貸住宅に係る団体の間での、災害時における民間賃貸住宅の活用に関する協定を締結した団体の構成員の場合は「当該協定」に従うこと、構成員でない場合は「当該協定」の趣旨に準じて地方公共団体からの要請に基づき災害時に被災者利用のため対象住宅の提供（住宅のあっせん等）に協力すること。
- 四 改修工事、賃貸住宅の管理等本事業の実施に当たり、暴力団員が関与することはありません。
- 五 手続きの代行を他の者に依頼する場合、事業の実施状況（手続きの実施状況、改修工事の実施状況、工事費の支払状況等）について、常に手続きの代行を行う者と情報を共有し、申請者として責任を持って事業の進捗管理を行います。

上記の一から五の事業要件等を確認しました。

上記事業要件等に合致しておりますので署名押印の上、確認書を提出します。

なお、上記事業要件等に万が一違反した場合は、補助金を全額返還致します。

平成 ○○ 年 ○× 月 ○× 日

[申請者]

一から五の事業要件をよく確認した上で、署名捺印をして下さい。

(法人名) :

氏名（代表者名） : あんしん 太郎

(印)

(申請書【交付様式：1-1】と同じ印鑑を押印ください。)

上記の一から五の事業要件等を確認しました。

標記内容に間違いのないことを誓約し、署名押印の上、確認書を提出します。

[事務連絡先（代行申請者）]

一から五の事業要件をよく確認した上で、署名捺印をして下さい。

(法人名) : 株式会社 ○○ 建築

氏名（代表者名） : 代表取締役 大工 力

(印)

(申請書【交付様式：1-2】と同じ印鑑を押印ください。)

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3－1】

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

対象建物概要書

本事業の対象となる改修工事を実施する「建物」について記入してください。

対象建物の 名称・棟番号	(フリガナ) ○○マンション
	○○マンション

建物総戸数をご記入下さい。(申請空家
ではありません。ご注意下さい。)

申請空家数を記入して下さい。

1. 対象建物の規模・構造・用途

		改修工事前		→	改修工事後		備考
戸 数	総戸数	4	戸	→	4	戸	用途が住宅である戸数を記入してください。
	対象住戸の戸数			→	2	戸	対象住戸とは、改修後に、住宅確保要配慮者と賃貸借 契約を締結して居住用として賃貸する住戸のことです。
規 模	地上階数	2	階	→	2	階	
	地下階数	0	階	→	0	階	
	基準階床面積	120	m ²	→	120	m ²	
	延べ床面積	240	m ²	→	240	m ²	
構 造		RC		造	→	RC	造
新築着工年月日		(昭和 ・ 平成) 2 年 4 月 1 日					
新築着工年月日が 昭和56年5月31日以前 の建物の場合		☐ 既に地震に対する安全性に係る規定に適合 することが確認されている。				応募・交付申請時に、耐震性能証明書（交付様式： 5）を提出してください。	
		☐ 本事業において、現行の耐震基準に適合させ る耐震改修工事を行う。				完了実績報告時に耐震改修工事証明書（完了様式： 6）を提出してください。	
用 途	改修工事前の用途	賃貸住宅	☐ 戸建住宅	☒ 共同住宅	☐ 併用住宅		
	複合用途の建築物の場合は、 該当するもの全てに ☑チェックしてください。	賃貸住宅以外	☐ 戸建住宅	☐ 共同住宅	☐ 併用住宅		
		住宅以外	☐ 店舗・事務所	☐ その他	()		

※改修前の用途が住宅であっても、賃貸住宅ではない場合は改修後に賃貸住宅として管理する必要があります。

※改修前の用途が店舗・事務所等の場合は、賃貸住宅に用途変更する必要があります。この場合、賃貸住宅にするための改修工事を補助対象とすることができます。

※建築基準法ほか関連法規に適合する法定手続きがなされていることが前提です。

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3－2】

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

2. 工事着工前の外観写真

対象建物全体がおおむね分かるように撮影した写真を貼り付けてください。

撮影日は必ず記入して下さい。

撮影日：平成 年 月 日

※申請日の3ヶ月以内に撮影した写真

建物全体が確認できる写真を貼り付けて下さい。

外観写真

現像またはプリントアウトしたものを
のりで貼り付けるか、
ワードもしくはエクセルのデータ上に
画像データを貼り付けてください

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3－3】

空家1戸毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の空家について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

対象住戸概要書

本事業の対象となる改修工事を実施する「住戸」について記入してください。

1. 対象住戸の概要

枠線内に左詰めで記入して下さい。

名称・棟番号	(フリガナ) ○○ マンション ○○ マンション		
部屋番号	101	改修工事前の家賃 (管理費および共益費を除く家賃)	38,000 円
改修工事前の床面積 ※小数点以下切り捨て	52 m ²	改修工事後の床面積 ※小数点以下切り捨て	52 m ²
改修工事前の間取り	2DK	改修工事後の間取り	1LDK
改修工事前の設備の有無 ※右欄の該当するものを全てに☑チェックして下さい。	☒ 台所 ☒ 水洗便所 ☒ 収納設備 ☒ 浴室 ☒ 洗面設備		改修工事前に無い設備は完了実績報告までに設置する必要があります。
居間、食堂、台所その他の住宅部分について、入居者が共同して利用する建物で、面積要件を緩和する住戸の場合、右欄に☑をお願いします。			
共同して利用する部分に☑チェックして下さい。	☐ 居間 ☐ 食堂 ☐ 台所 ☐ 収納設備 ☐ 浴室 ☐ その他 ()		
地域住宅計画において別の面積が定められている場合の当該面積 該当する場合右欄に☑し、当該面積を記入してください。	☐		m ²
バリアフリー性 ※改修工事前、既に対応が行われているものを全てに☑チェックして下さい。	☒ 以下の箇所に手すりが設置されている ☐ 浴室 ☒ 便所 ☐ 居室 ☐ 洗面所又は脱衣所 ☒ 玄関、廊下又は階段（住戸内）		改修工事後の対象住戸内に、左記のいずれかの対応が行われていることが必要となります。
	☐ 屋内の段差解消		
	☐ 車いすで通行可能な廊下幅の確保		
改修工事前の用途	賃貸住宅	☐ 戸建住宅 ☒ 共同住宅 ☐ 併用住宅	
	賃貸住宅以外	☐ 戸建住宅 ☐ 共同住宅 ☐ 併用住宅	
	住宅以外	☐ 店舗・事務所 ☐ その他 ()	
空家状況の確認	☒ 建築士による適合確認書【交付様式：4－5】		

※改修前の用途が住宅であっても、賃貸住宅ではない場合は改修後に賃貸住宅として管理する必要があります。
※改修前の用途が店舗・事務所等の場合は、賃貸住宅に用途変更する必要があります。この場合、賃貸住宅にするための改修工事を補助対象とすることができます。
※建築基準法ほか、関連法規に適合する法定手続きがなされていることが前提です。

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3－4(1)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

2. 工事着工前の対象住戸写真(1)

改修工事前であることが確認できる、居室と台所の現況写真を貼り付けてください。

改修工事前の住戸内に当該設備が無い場合、もしくは事務所等住宅以外の用途の場合は、「該当設備なし」欄に☐チェックしてください。

ただし、改修工事後の住戸には要件に適合する設備等を具備する必要があります。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号

申請空家毎に作成して下さい。

撮影日：平成

年

月

日

※申請日の3ヶ月以内に撮影した写真

居室の写真

(住宅以外の用途の場合は、内部が確認できる写真を貼り付けてください。)

居室の写真

「居室」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。
事務所等の住宅以外の用途の場合は、現況の用途(執務室等)を撮影して下さい。

台所の写真

☐ 該当設備なし

台所の写真

「台所」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。
事務所等の住宅以外の用途で当該設備がない場合は「該当設備なし」欄にチェックして下さい。

(※改修工事後の対象住戸には、台所を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3-4(2)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

2. 工事着工前の対象住戸写真(2)

改修工事前であることが確認できる、水洗便所と収納設備の現況写真を貼り付けてください。

改修工事前の住戸内に当該設備が無い場合、もしくは事務所等住宅以外の用途の場合は、「該当設備なし」欄に☐チェックしてください。

ただし、改修工事後の住戸には要件に適合する設備等を具備する必要があります。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号

申請空家毎に作成して下さい。

撮影日：平成

年

月

日

※申請日の3ヶ月以内に撮影した写真

水洗便所の写真

☐ 該当設備なし

水洗便所の写真

「水洗便所」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。
事務所等の住宅以外の用途で当該設備がない場合は「該当設備なし」欄にチェックして下さい。

(※改修工事後の対象住戸には、水洗便所を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)

収納設備の写真

☐ 該当設備なし

収納設備の写真

「収納設備」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。
事務所等の住宅以外の用途で当該設備がない場合は「該当設備なし」欄にチェックして下さい。

(※改修工事後の対象住戸には、収納設備を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意ください。)

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3-4(3)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

2. 工事着工前の対象住戸写真(3)

改修工事前であることが確認できる、洗面設備と浴室の現況写真を貼り付けてください。

改修工事前の住戸内に当該設備が無い場合、もしくは事務所等住宅以外の用途の場合は、「該当設備なし」欄に☐チェックしてください。

ただし、改修工事後の住戸には要件に適合する設備等を具備する必要があります。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号

申請空家毎に作成して下さい。

撮影日：平成

年

月

日

※申請日の3ヶ月以内に撮影した写真

洗面設備の写真

☐ 該当設備なし

洗面設備の写真

「洗面設備」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。
事務所等の住宅以外の用途で当該設備がない場合は「該当設備なし」欄にチェックして下さい。

(※改修工事後の対象住戸には、洗面設備を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意下さい。)

浴室の写真

☐ 該当設備なし

浴室の写真

「浴室」の周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。
事務所等の住宅以外の用途で当該設備がない場合は「該当設備なし」欄にチェックして下さい。

(※改修工事後の対象住戸には、浴室を備える必要があります。設置していない住戸は補助対象とはなりませんのでご注意下さい。)

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成27年度】対象住戸概要書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：3－5】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

3. 工事着工前の対象住戸写真（バリアフリー対応がなされている場合）

改修工事前の対象住戸で、既に所定のバリアフリー対応がなされていることが確認できる当該部分の写真を貼り付けてください。（申請日の3ヶ月以内に撮影した写真を貼り付けてください。）

対応がなされていない場合、この様式を作成する必要はありません。

撮影日は必ず記入して下さい。

部屋番号	申請空家毎に作成して下さい。	撮影日：平成	年	月	日
------	----------------	--------	---	---	---

すでに対応されている内容	☐ 手すり設置	☐ 段差解消	☐ 廊下幅の確保
--------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

箇所名	写真番号	写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。
-----	------	-----------------------------

バリアフリー対応の写真

「バリアフリー対応」（手すり設置、段差解消、廊下幅の確保）がされている周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。

箇所名	写真番号	写真は番号を付し、撮影箇所を平面図に表示してください。
-----	------	-----------------------------

バリアフリー対応の写真

「バリアフリー対応」（手すり設置、段差解消、廊下幅の確保）がされている周辺状況が確認できるように全体を撮影した写真を貼り付けて下さい。

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－1A】

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

工事計画書

用途変更をしない場合

1. 補助対象工事について

実施する改修工事の内容として、事業要件に該当するもの全てに ☒ **チェック**して下さい。
なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認してください。

申請する項目にチェックをして下さい。

分類	改修工事の名称		工事種別	数量	補助対象金額（税抜）	
イ	バリアフリー改修工事 交付申請要領（参考１） に準じるものとする。	改修後の対象住戸には右記のいずれかが対応されていることが必要です。	手すりの設置	☒	2	32,500 円
			段差解消	☒	1	468200 円
			廊下幅等の拡張	☐		円
		上記に加えて補助対象となる工事	浴室の改良	☐		円
			便所の改良	☐		円
			出入口の戸の改良	☐		円
			階段の設置・改良	☐		円
		転倒防止	☐		円	
		補助対象費用（バリアフリー改修工事） 小計				
ロ	耐震改修工事 昭和56年5月31日以前に着工された住宅について、現行の耐震基準に適合させるもの	※建築基準法等関係法令適合について建築士の確認を要します。	☐		円	
ハ	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事 戸建住宅や事務所等の賃貸住宅以外の用途の建物を賃貸住宅に用途変更するために必要となる改修工事	※建築基準法の建築確認申請が必要です。			円	
ニ	入居対象者の居住の安定の確保を図るため居住支援協議会が必要と認める改修工事	※所管の協議会が設定していない場合は補助対象となりません。	☐		円	
	諸経費、値引き等を別項目としている場合はこちらに記入してください。		☐		円	
			☐		円	
B 補助対象工事費（全体） 合計					500 千円	

2. 対象建物における空家等戸数

【交付様式:3-1】の戸数と相違がないようにして下さい。

総戸数 4 戸 のうち対象住宅戸数 A : 2 戸

3. 補助対象費用 (改修工事費) 【税抜】

↓ 千円未満切り捨て・税抜で記載して下さい。

項目	金額欄	備考
B 補助対象工事費 (全体)	5 0 0 千円	上記「1. 補助対象工事について」の補助対象工事費 (全体) の金額となります。
C B (補助対象工事費) × 1 / 3	1 6 6 千円	
D A (対象住宅戸数) × 5 0 万円	1 0 0 0 千円	用途変更工事の有無により戸数毎の上限額が異なります。
E 補助申請額	1 6 6 千円	CとDの金額のうち、低い方を記入する

■ 他の補助金の有無

本事業以外に、国や地方公共団体の補助金を申請又は受領する予定がある場合、下記に事業名と本事業との区分けを明記してください。

この記入欄に内容が収まらない場合は、ここには「別紙添付」と記載の上、別紙(任意様式)の提出可。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成27年度】工事計画書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－1 B】

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

工事計画書

用途変更をする場合

1. 補助対象工事について
- 実施する改修工事の内容として、事業要件に該当するもの全てに ☒ **チェック**して下さい。
なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認してください。
- 申請する項目にチェックをして下さい。

分類	改修工事の名称		工事種別		数量	補助対象金額（税抜）
イ	バリアフリー改修工事 交付申請要領（参考１） に準じるものとする。	改修後の対象住戸には右記のいずれかが対応されていることが必要です。	手すりの設置	☒		円
			段差解消	☒	2	1,000,300 円
			廊下幅等の拡張	☐		円
		上記に加えて補助対象となる工事	浴室の改良	☒	2	1,000,200 円
			便所の改良	☐		円
			出入口の戸の改良	☒	2	100,100 円
			階段の設置・改良	☐		円
			転倒防止	☐		円
		補助対象費用（バリアフリー改修工事） 小計				2,100,600
ロ	耐震改修工事 昭和56年5月31日以前に着工された住宅について、現行の耐震基準に適合させるもの	※建築基準法等関係法令適合について建築士の確認を要します。	☐		円	
ハ	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事 戸建住宅や事務所等の賃貸住宅以外の用途の建物を賃貸住宅に用途変更するために必要となる改修工事	※建築基準法の建築確認申請が必要です。	☒	1	8,000,300 円	
ニ	入居対象者の居住の安定の確保を図るため居住支援協議会が必要と認める改修工事	※所管の協議会が設定していない場合は補助対象となりません。	☐		円	
	諸経費、値引き等を別項目としている場合はこちらに記入してください。		☐		円	
			☐		円	
B 補助対象工事費（全体） 合計					10,100	千円

2. 対象建物における空家等戸数
- 【交付様式:3-1】の戸数と相違がないようにして下さい。

総戸数 2 戸 のうち対象住宅戸数 A : 2 戸

3. 補助対象費用 (改修工事費) 【税抜】
- ↓ 千円未満切り捨て・税抜で記載して下さい。

項目	金額欄	備考
B 補助対象工事費 (全体)	1 0 1 0 0 千円	上記「1. 補助対象工事について」の補助対象工事費 (全体) の金額となります。
C B (補助対象工事費) × 1 / 3	3 3 6 6 千円	
D A (対象住宅戸数) × 1 0 0 万円	2 0 0 0 千円	用途変更工事の有無により戸数毎の上限額が異なります。
E 補助申請額	2 0 0 0 千円	CとDの金額のうち、低い方を記入する

- 他の補助金の有無
- 本事業以外に、国や地方公共団体の補助金を申請又は受領する予定がある場合、下記に事業名と本事業との区分けを明記してください。

この記入欄に内容が収まらない場合は、ここには「別紙添付」と記載の上、別紙(任意様式)の提出可。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成27年度】工事計画書

【交付様式：4-2】

4. 改修工事について

※複数の事業者に分離して発注する場合（分離発注）は用紙を追加して下さい。
※分離発注は、改修工事の分類（イ・ロ・ハ・ニ）毎に請負契約を締結するもののみ認めら

工事請負契約書(消費税抜き)の金額を記入して下さい。

5. 補助対象工事費内訳

※1 補助対象工事は、交付様式4-3及び4-4の分類、工事種別毎に記入し、各々の数量及び金額を記入して下さい。また、備考欄には部屋番号、施工箇所、施工量（概数）を明記してください。

※2 工事請負契約における見積書で、諸経費や値引き額を項目分けて計上している場合は、上記内訳にも項目を分けて記入してください。

※3 「賃貸住宅に用途変更するための改修工事」を行う場合を除き、店舗、事務所等に係る工事は補助対象となりません。

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成27年度】工事計画書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4-3(1)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

6. 改修工事の内容：空家（イ. バリアフリー改修工事）

交付申請要領（参考1）
に準じるものとする。

部屋番号 101

（空家）申請工事内容をチェックし、工事内容を確認する書類も添付して下さい。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄）	工事内容を確認する書類（添付）
イ バ リ ア フ リ ー 改 修 工 事 （ 空 家 ）	手すりの設置 ただし、工事後対象住宅のバリアフリー性の要件となる場合は2箇所以上の対応が必要となる	☐ 便所 ☒ 浴室 ☐ 洗面所又は脱衣所 ☐ 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 ☐ 玄関、廊下又は階段	☒ 手すりの設置箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等）
	段差解消 既存の段差を無にする工事とする。ただし、勝手口等は差を小さくする工事も含む。	☒ 勝手口等以外の出入口 ☐ 廊下の床 ☐ 勝手口等、上り框、浴室出入口	☒ 段差解消工事箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） 勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。
	廊下幅等の拡張 おおむね750mm以上に拡張する工事とする。ただし、浴室出入口は600mm以上。	☐ 出入口 ☐ 廊下等	☐ 廊下幅等の拡張箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） 寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。
	浴室の改良	☐ 床面積の増加(おおむね1.8㎡以上及び短辺の内法寸法が1,200mm以上) ☐ 浴槽のまたぎ高さを低くする工事 ☐ 固定式の移乗台、踏み台等の設置 ☐ 水栓器具の改良（設置・交換）	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 浴槽のまたぎ高さは寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。 ☐ 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料
	便所の改良	☐ 床面積の増加(長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上) ☐ 座便式の便器に交換する工事 ☐ 座便式の便器の座高を高くする工事	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 必要に応じて寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。 ☐ 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料
	出入口の戸の改良	☐ 開戸を引戸、折戸等に交換 ☐ 開戸のドアノブ交換 ☐ 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 ☐ 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料
	階段の設置・改良 既存階段の撤去を伴うものに限る。	☐ 階段	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 既存階段の写真 踏面・蹴上に寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。
	転倒防止	☐ 便所 ☐ 浴室 ☐ 洗面所又は脱衣所 ☐ 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 ☐ 玄関 ☐ 廊下 ☐ 階段	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 ☐ 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料

※1 完了実績報告で改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合もありますのでご注意ください。

（注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成27年度】工事計画書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－3(2)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

6. 改修工事の内容：空家（ハ、ニ）

実施する改修工事の内容として、事業要件に該当するものを全てに☑**チェック**して下さい。
 なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

部屋番号	
------	--

（空家）申請工事内容をチェックし、工事内容を確認する書類も添付して下さい。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄） 空欄の場合は施工箇所を記入して下さい		工事内容を確認する書類（添付）
ハ	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事	☐		☐ 改修工事に係る計画図面 ☐ 賃貸住宅に用途変更する工事の施工箇所の改修工事前の状況を撮影した写真
ニ 入居対象者の居住の安定の確保を図るため居住支援協議会が必要と認める改修工事	住宅の間取りの変更に係る工事	☐	空家	☐ 改修工事に係る計画図面 ☐ 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	設備（台所・洗面等）の利便性向上に係る工事	☐	空家	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	遮音性・防音性の向上に係る工事	☐	空家	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	断熱性・気密性の向上に係る工事	☐	空家	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	防犯性の向上に係る工事	☐	空家	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	照明や給湯器等の設備の高効率化工事	☐	空家	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
		☐	空家	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
		☐	空家	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真

- ※ 1 完了実績報告で改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。
- ※ 2 所管の居住支援協議会ごとに認める改修工事が異なります。補助対象となる工事内容を、事前に所管の居住支援協議会に必ずご確認ください。
 完了実績報告で所管の協議会が意図する工事内容に適合しないことが判明した場合、施工済みであっても補助対象外となる場合があります。なお、この場合、当支援室は一切責任を負いませんので、ご納得のうえ申請してください。

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4-3(3)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住宅について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

6. 改修工事の内容：共用部分（イ. バリアフリー改修工事）

実施する改修工事の内容として、事業要件に該当するものを**全てに**☑**チェック**して下さい。

なお、改修工事

（共用部分）申請工事内容をチェックし、工事内容を確認する書類も添付して下さい。

分類	工事種別	施工部位等（工事チェック欄）	工事内容を確認する書類（添付）
イ バ リ ア フ リ ー 改 修 工 事 （ 共 用 部 分 ）	手すりの設置 ただし、共用部分に設置するものは改修後の対象住宅のバリアフリー性の要件に含むことはできません	☐ 共用便所 ☐ 共用浴室 ☐ 共用の洗面所又は脱衣所 ☐ 共用の居室 ☐ 共用の玄関、廊下又は階段	☐ 手すりの設置箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等）
	段差解消 既存の段差を無にする工事とする。ただし、勝手口等は差を小さくする工事も含む。	☐ 共用廊下の床 ☐ 共用玄関・勝手口等、浴室出入口	施工箇所を下記に記入して下さい。 ☐ 段差解消工事箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） 勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。
	廊下幅等の拡張 おおむね750mm以上に拡張する工事とする。ただし、浴室出入口は600mm以上。	☐ 共用の出入口 ☐ 共用廊下等	施工箇所を下記に記入して下さい。 ☐ 廊下幅等の拡張箇所毎の改修工事前の写真及び改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） 寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。
	共用浴室の改良	☐ 床面積の増加(おおむね1.8㎡以上及び短辺の内法寸法が1,200mm以上) ☐ 浴槽のまたぎ高さを低くする工事 ☐ 固定式の移乗台、踏み台等の設置 ☐ 水栓器具の改良（設置・交換）	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 浴槽のまたぎ高さは寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。 ☐ 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料
	共用便所の改良	☐ 床面積の増加(長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上) ☐ 座便式の便器に交換する工事 ☐ 座便式の便器の座高を高くする工事	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 必要に応じて寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。 ☐ 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料
	共用出入口の戸の改良	☐ 開戸を引戸、折戸等に交換 ☐ 開戸のドアノブ交換 ☐ 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 ☐ 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料
	共用階段の設置・改良	☐ 階段	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 既存階段の写真 踏面・蹴上に寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。
	共用部分の転倒防止	☒ 便所 ☐ 浴室 ☐ 洗面所又は脱衣所 ☐ 居室 ☐ 玄関 ☐ 廊下 ☐ 階段	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真 ☐ 工事を実施する箇所毎の仕様が確認できる資料

※1 完了実績報告で改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合もありますので注意ください。

（注）この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

【平成27年度】工事計画書

対象工事番号 (支援室が記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4-3(4)】

空家毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

6. 改修工事の内容：共用部分（ロ、ハ、ニ）

実施する改修工事の内容として、事業要件に該当するもの全てに☒チェックして下さい。
 なお、改修工事の要件の詳細については、交付申請要領を確認して下さい。

（共用部分）申請工事内容をチェックし、工事内容を確認する書類も添付して下さい。

分類	工事種別	施工部位等（工事ナック欄） 空欄の場合は施工箇所を記入して下さい		工事内容を確認する書類（添付）
□	耐震改修工事 昭和56年5月31日以前に着工された住宅について、現行の耐震基準に適合させるもの	☐		☐ 改修工事に係る計画図面 ☐ 耐震改修工事の施工箇所の改修工事前の状況を撮影した写真
ハ	他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事	☐		☐ 建築確認申請済書の写し ☐ 改修工事に係る計画図面 ☐ 賃貸住宅に用途変更する工事の施工箇所の改修工事前の状況を撮影した写真
ニ 入居対象者の居住の安定の確保を図るため居住支援協議会が必要と認める改修工事	設備（台所・洗面等）の利便性向上に係る工事	☐	共用	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	遮音性・防音性の向上に係る工事	☐	共用	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	断熱性・気密性の向上に係る工事	☐	共用	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	防犯性の向上に係る工事	☐	共用	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
	照明や給湯器等の設備の高効率化工事	☐	共用	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
		☐	共用	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真
		☐	共用	☐ 改修工事の実施箇所が確認できる書類（図面等） ☐ 工事を実施する設備・箇所毎の改修工事前の状況を撮影した写真

- ※1 完了実績報告で改修内容に応じて指定されている添付写真（工事前・施工中・工事後）がない場合、補助対象とならない場合がありますのでご注意ください。
- ※2 所管の居住支援協議会ごとに認める改修工事が異なります。補助対象となる工事内容を、事前に所管の居住支援協議会に必ずご確認ください。
 完了実績報告で所管の協議会が意図する工事内容に適合しないことが判明した場合、施工済みであっても補助対象外となる場合があります。なお、この場合、当支援室は一切責任を負いませんので、ご納得のうえ申請してください。

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(1)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事－手すりの設置)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 便所 ☐ 浴室 ☐ 洗面所又は脱衣所	☐ 浴室・便所・洗面所・脱衣所以外の居室 ☐ 玄関、廊下又は階段
--	---	---	---

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「手すり設置」工事する設置面の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「手すり設置」工事する設置面の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(2)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事－段差解消)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 勝手口等以外の出入口 ☐ 廊下の床	☐ 勝手口等、上り框、浴室出入口(空家) ☐ 玄関・勝手口等、浴室出入口(共用部)
--	---	--	--

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「段差解消」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※勝手口等、上り框、浴室出入口の場合は、寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「段差解消」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(3)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事－廊下幅等の拡張)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 出入口 ☐ 廊下等
--	---	--

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「廊下幅等の拡張」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「廊下幅等の拡張」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(4)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事－浴室の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 床面積の増加(おおむね1.8㎡以上及 び短辺の内法寸法が1,200mm以上) ☐ 浴槽のまたぎ高さを低くする工事	☐ 固定式の移乗台、踏み台等の設置 ☐ 水栓器具の改良(設置・交換)
--	---	--	---

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「浴室の改良」工事する浴室の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※床面積の増加、浴槽のまたぎ高さは、寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影して下さい。

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「浴室の改良」工事する浴室の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(5)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事－便所の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 床面積の増加(長辺の内法寸法1,300mm以上又は便器と壁の距離が500mm以上) ☐ 座便式の便器に交換する工事 ☐ 座便式の便器の座高を高くする工事
--	---	---

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「便所の改良」工事する便所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※床面積の増加、座高の高さに関する場合は、寸法が分かるようにメジャーを当て撮影してください。

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「便所の改良」工事する便所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(6)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事－出入口の戸の改良)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 開戸を引戸、折戸等に交換 ☐ 開戸のドアノブ交換 ☐ 戸車等戸の開閉を容易にする器具の設置
--	---	--

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「出入口の戸の改良」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「出入口の戸の改良」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(7)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事－階段の設置・改良)

↓ 共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑ 撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部
--	---

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「階段の設置・改良」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

※踏面・蹴上に寸法が分かるようにメジャーを当てて撮影してください。

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「階段の設置・改良」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(8)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (バリアフリー改修工事－転倒防止)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	☐ 便所 ☐ 浴室 ☐ 洗面所又は脱衣所	☐ 浴室・便所・洗面所・脱衣所 以外の居室 ☐ 玄関	☐ 廊下 ☐ 階段
--	---	---	--	--

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「転倒防止」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「転倒防止」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(9)】

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (耐震改修工事)

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所	☒ 共用部
------	---

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「耐震改修」工事する箇所の**部分写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「耐震改修」工事する箇所の**全体写真**を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(10)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (他用途から賃貸住宅に用途変更するための改修工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部
--	---

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「用途変更に伴う工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「用途変更に伴う工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(11)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (住宅の間取り変更に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所	☒ 空家	施工箇所を記入してください。
------	--	----------------

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「間取り変更に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「間取り変更に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(12)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (設備(台所・洗面等)の利便性向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所について、 ☒ チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	施工箇所を記入してください。
--	---	----------------

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「設備に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「設備に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(14)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (断熱性・気密性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	施工箇所を記入してください。
--	---	----------------

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「断熱性・気密性に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「断熱性・気密性に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(13)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (遮音性・防音性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	施工箇所を記入してください。
--	---	----------------

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「遮音性・防音性に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「遮音性・防音性に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(15)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (防犯性の向上に係る工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示して下さい。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	施工箇所を記入してください。
--	---	----------------

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「防犯性の向上に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「防犯性の向上に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4－4(16)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (照明や給湯器等の設備の高効率化工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

施工箇所 右欄のいずれかの施工箇所に ついて、☑チェックをしてください。	☐ 空家 ☐ 共用部	施工箇所を記入してください。
--	---	----------------

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「設備の高効率化に係る工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「設備の高効率化に係る工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号 (支援室で記入)									
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【交付様式：4-4(17)】

空家1戸毎、施工箇所毎に1枚のシートを作成して下さい。2戸以上の住戸について申請する場合はシートを追加して作成して下さい。

改修工事実施予定部分写真 (その他居住支援協議会が認める工事)

↓共用部の場合は記入不要です。

部屋番号		箇所番号			枚目／総枚数		枚
------	--	------	--	--	--------	--	---

申請空家毎に作成して下さい。

↑撮影箇所がわかるよう平面図に写真番号を表示してください。

改修工事を行う予定の施工箇所毎に、改修工事前の状況が確認できる現況写真を貼り付けてください。

独自の工事内容		
施工箇所	☐ 空家 ☐ 共用部	施工箇所を記入してください。
右欄のいずれかの施工箇所について、 ☒ チェックをしてください。		

工事前の部分写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の部分写真

「協議会が認める工事」工事する箇所の部分写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

工事前の全体写真

撮影日、撮影者は必ず記入して下さい。

(撮影日：平成 年 月 日 撮影者：)

工事前の全体写真

「協議会が認める工事」工事する箇所の全体写真を貼り付けて下さい。また、箇所番号は、住戸平面図等に撮影した位置を同一番号で表示し、施工箇所にチェックをして下さい。

(※補助対象工事について、工事前、施工中、工事後の写真が提出できない場合は、補助対象外となる場合がありますので、ご注意下さい。)

対象工事番号
(支援室が記入)

【交付様式：4-5】

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

確認書 (建築士による事業要件への適合確認)

当該申請について、事業内容を確認し、平成27年度住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業交付申請要領に定める下記の事業要件に適合することを証明します。

なお、補助金額の確定の際及び補助金の支払い後の現場検査等の結果、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解した上で、証明したものであることを確認します。

対象建物	名称・棟番号	〇〇マンション
	部屋番号	101,201

↑ 対象住戸が複数ある場合は部屋番号を列記して下さい。また、賃貸住宅以外の用途の場合は、改修後の部屋番号（旧用途）「101（旧：事務所）」のように記入してください。

平成 〇〇 年 〇× 月 ×× 日

(一級・二級・木造) 建築士登録番号： 大臣登録 第〇〇〇〇〇号

建築士の氏名： 建築 正

建築士の連絡先： 090-1234-4567

建築士事務所名： △△建築設計事務所

知事登録： 〇〇知事登録 〇〇〇〇 号

所在地： 東京都中央区日本橋〇-〇-〇

連絡先： 03-4567-1234

印鑑証明書
と同じ印鑑
を押して下
※1

対象建物を設計・工事監理することができる建築士による確認が必要です。

「建築士の免許証の写し」及び建築士個人印の「印鑑証明書の写し」を添付して下さい。

※1 印鑑証明と同一の印を押印して下さい。

※2 日中連絡がとれる電話番号を必ず記入して下さい。

下表の項目について該当することを確認し☑を記入して下さい。☑欄が複数ある項目はいずれかに該当することを確認し、該当するものに☑チェックを記入して下さい。

1) 人が居住していないことの確認	☒	本事業の対象となる改修工事を実施する住戸については、全て人が居住していない。 (確認日 平成 〇〇 年 ×× 月 ×× 日)
2) 床面積要件の確認	☐	本事業の対象となる改修工事を実施する住戸の床面積が、全て25㎡以上である。 (改修後に25㎡以上となる場合を含む。)
	☐	本事業の対象となる改修工事を実施する住戸について、床面積が25㎡未満の住戸があるが、当該住戸は全て以下のいずれかに該当する。(改修後に以下の面積以上となる場合を含む。) a)居間、食堂、台所その他の住宅の部分について、入居者が共同して利用するために十分な面積を有する場合で、かつ、18㎡以上である。 b)地域における多様な需要に応じた公的賃貸住宅の整備等に関する特別措置法（平成17年法律第79号）第6条第1項に規定する地域住宅計画において別の面積が定められており、当該住戸の床面積は当該面積以上である。
3) 設備要件の確認	☒	本事業の対象となる改修工事を実施する住戸の全てが台所、水洗便所、収納設備、洗面設備及び浴室（以下「台所等」という。）を有するものである。 (改修後に台所等を備える場合を含む。)
	☐	本事業の対象となる改修工事を実施する住戸について、台所等がない住戸があるが、共用部分に共同して利用するため適切な台所等を備えることにより、各戸に備える場合と同等以上の居住環境が確保されている。(改修後に台所等を備える場合を含む。)
4) バリアフリー性要件の確認	☒	対象住戸において、2箇所以上の手すり設置、屋内の段差解消、車いすで通行可能な廊下幅の、いずれかのバリアフリー性の対応が行われている。 (改修後にいずれかのバリアフリー対応がなされる場合を含む。)

(注) この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

【平成27年度】事業要件適合の確認書

対象工事番号
(支援室が記入)

【交付様式：5】

対象建物 1 棟毎に 1 枚のシートを作成して下さい。

耐震性能証明書

建物名称：〇〇マンション

所在地：東京都豊島区南池袋〇-〇-〇

規模：地下 0 階、地上 2 階、塔屋 0 階

構造種別：（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造）

※該当する構造種別を囲んでください。

上記建物の耐震性能については、「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号、改正平成17年法律第120号）」及び同法第4条の規定に基づく「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的方針（平成18年国土交通省告示第184号）」の「（別添）建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項」に照らし、所要の耐震性能を有していることを証明いたします。

なお、補助金額の確定の際及び補助金の支払い後の現場検査等の結果、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることを十分に理解した上で、証明したことを確認します。

記

平成 〇〇 年 〇× 月 ×× 日

（一級・二級・木造）建築士登録番号：大臣登録 第〇〇〇〇〇〇号

建築士の氏名：建築 正

建築士の連絡先：090-1234-4567

建築士事務所名：△△建築設計事務所

知事登録：〇〇知事登録 〇〇〇〇 号

所在地：東京都中央区日本橋〇-〇-〇

連絡先：03-4567-1234

印鑑証明書
と同じ印鑑
を押して下さい

※ 1

※ 2

対象建物を設計・工事監理することができる建築士による確認が必要です。

「建築士の免許証の写し」及び建築士個人印の「印鑑証明書の写し」を添付して下さい。

※当該建築物を設計することができる資格を有する者が証明すること

※ 1 印鑑証明と同一の印を押印して下さい。

※ 2 携帯電話等、日中連絡がとれる電話番号を必ず記入して下さい。